

情報の入手方法の確認

自ら情報を取りに行くことも災害に備える重要な手段の一つです。気象庁ホームページは、雨雲の動きや大雨危険度、洪水危険度分布など、地域に迫る危険をリアルタイムで確認できます。大雨や台風接近等で災害発生のおそれがある場合に活用できるよう、平常時に操作方法を確認しておくことをお勧めします。

身近な防災情報はテレビのdボタンでも確認できます。各テレビ放送局のデータ放送を通じて、気象情報・災害情報・河川水位情報のほか様々な災害関連情報が配信されます。ぜひ活用してください。



肝付町はMBC南日本放送と防災パートナーシップに関する協定を締結し、データ放送を使用して様々な情報を発信しています。

災害発生のおそれがある場合には、防災行政無線と併せてMBC南日本放送のデータ放送にある市町村情報（肝付町からのお知らせ）でも避難情報等を発信しますので確認するようにしてください。

パソコンやスマホ等をお持ちの方は、MBCアプリでも市町村情報を確認することができます。

また、NHKニュース・防災アプリでも災害関連情報や避難情報等を確認することができます。こちらも活用してください。

避難に備える

避難する時に備えて、非常時に持ち出すものを平常時に揃えておき、リュックなどに収納しておきましょう。避難情報が発令されてから準備すると、避難のタイミングを逃してしまいます。

非常持出品は、避難先で自分にとって必要なもの、ないと困るものをリストアップして準備しましょう。

肝付町防災マップでは、「最低限揃えておきたいもの」や二次持出品として用意したほうがいいものを紹介しています。肝付町防災マップで確認してください。



◀ 肝付町の避難用品として新しくプライベートルームやワンタッチパーテーションが導入されました。プライバシーを守ることができ、乳幼児への授乳や更衣室・仮設の救護室を設置することができます。



◀ MBC 防災アプリ



◀ NHK ニュース 防災アプリ



平成24年6月27日、内之浦で観測史上最多の24時間雨量371mmを記録する豪雨となり、町内100か所以上で土砂崩れが発生しました。主要道路の多くが不通となり、住宅2棟、非住宅3棟が全壊、一時7集落202世帯、350人が孤立し、全集落の孤立が解消したのは、12日後の7月9日でした。

この豪雨災害で犠牲者が発生しなかったのは、偶然ではありません。危険を感じた住民の方々が早い時期に防災スイッチをオンにし、自らの命は自ら守る行動を実践したからです。

そこには、海岸線が長く、山間部を多く有するなどの地域特性を理解し、先人から伝えられた過去の大災害を多くの住民が記憶、伝承していた防災への備えがあったからです。

過去の災害の記録や教訓を伝承し、過去の災害から学ぶこと。それを自分の命を守る防災行動に役立てること。とても大切なことだと思えます。